
おとーさんが語る 桃太郎さん

呪理阿

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

おとーさんが語る 桃太郎さん

【Nコード】

N0943S

【作者名】

呪理阿

【あらすじ】

三度、おとーさんが話し初めましたのはまたしても桃太郎！今度は二人で桃太郎！？どーゆーこっちゃと思った方は、どーぞ見てってください！最初から最後までギャグの、しりあす？何それおいしいの？な短編です！

どうも、父です。
いまだ名前はない。
今日も今日とて桃太郎を話す所である。
他のはないのかって？ 思いついたら離すよ。多分。
はじまりはじまりー

むかーしむかし、ある所におじいさんと言う名のお姉さんとおばあさんという名のお兄さんがおりました。

「ややこしいな!？」

文句はおじいさんとおばあさんの親に言ってくれ。

「……それって親父じゃねえか？」

……しまった。

とにかく! おじいさんは川へ洗濯へおばあさんは山へ芝刈りに行きました。

おじいさんが川で洗濯をしていると、犬がやってきました。

「ここで!？」

犬という名の猫です。

「ややこしい!」

『あら犬、何銜えてるの?』

犬が銜えていたのはゾウアザラシでした。

「無理があるでしょ!!」

ゾウアザラシという名の金魚です。

「ややこしいと言うに」

『ねえ、ちょっと見せて』

犬は一目散に逃げていきました。

「何故に」

お姉さん

おばあさんにとられると思ったのです。

「まっさかー。ねーちゃんじゃあるまいし」

「岳、ちよっとこっちにいらっしや〜い？」

——フルボッコ中につき、しばらくお待ちください——

……はい、失礼しました。

お姉さん

おばあさんが選択を続けていると、川上の方からどんぶらこっこ、どんぶらこっこ、と桃が流れてきました。

「今度は○○という名の……じゃないんだね〜」

桃と言う名の赤ちゃんです。

「いきなり!？」

だって……桃が流れてきてそこから持って帰ってそれでやっと生まれるって面倒だったんだもん。

「いや、面倒って……」

お姉さん

おばあさんは桃を拾って、言いました。

『何で桃太郎なのに桃しか来おへんねんーっ!! おかしいやろーっ!!』

「何故関西弁!？　そして話に突っ込むな登場人物!!」

その叫びが山にこだますると、今度はどんぶらこっこ、どんぶらこっこ、と、太郎が流れてきました。

『ああよかった。これで桃太郎になったわ』

「それでいいのか……」

数年後、桃と太郎が大きくなってから。

「途中はしりやがった」

二人が町を歩いていると、向こうからおじさんが歩いてきました。

「おじさんという名の、何？」

いや、今度は本当におじさんなんだよ。

『え!？』

そんなに喜ぶな。

……喜んでない? そうですか。

おじさんの名前は犬猿雉と言います。

「混ぜた……」

『桃さん、太郎さんこんにちは！ 聞きました？ 最近鬼が島が出るらしいですよ』

『鬼が島が出る？』

『そうです、確かあっちの方に……』

桃太郎は犬猿雉が指した方へ歩いて行きました。

「鬼が島に歩いて行けるの？」

しばらくすると、縞模様の鬼が居ました。

「え、鬼が縞！？」

本来なら鬼を退治して宝物を取り返さなければいけないのですが、その鬼は貧乏そうでした。

『桃さん太郎さん、どうしましょう……コイツ人間にも優しいんですよ』

「まるでそれが悪いこと見たいじゃん」

『うー……ん、じゃあこうしよう！』

桃太郎達は鬼を捕まえて、見世物にしました。

「おい」

とっても珍しい鬼が縞のお陰で、たっぷり儲けることが出来ましたとさ、お終い。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n0943s/>

おとーさんが語る 桃太郎さん

2011年10月8日13時46分発行